

えびの

I Will Inform you.

広報

2024
DECEMBER
vol.698

12

Ebino city Public relations

今月の掲載記事

第38回田の神さあの里産業文化祭
市の決算概要をお知らせします
地域子育て支援センターが新たに開設!
pick up information
TOPICS



ステージイベント



大野勇太ライブ



鳥羽一郎 歌謡ショー



読書感想文・図画表彰式



表彰された作品の展示



ステージイベントを楽しむ大勢の観客

田の神さぁおどり大会



元気に踊る園児たち



田の神さぁの仮装で踊る

郷土芸能発表



下大河平輪太鼓踊り

金屏風踊り

第38回

田の神さぁの里 産業文化祭

11月23日・24日、市文化の杜で「第38回 田の神さぁの里 産業文化祭」が行われました。

これは、市とJAみやざきえびの市地区本部、市教育委員会が共催で毎年行っているものです。

会場内では、子どもふれあい広場や特産品の販売、消防・警察・陸上自衛隊車両の展示などが行われました。また、特設イベント会場では、ステージショーや市内小・中学生の読書感想文・感想画の表彰式などが行われました。

1日目には、田の神さぁおどり大会が行われ、6団体131人が出場しました。また、2日目には、郷土芸能発表が行われ、水流金屏風保存会と下大河平輪太鼓踊り保存会が、伝統芸能を披露しました。

2日間で約1万2,000人が訪れ、買い物や催しを楽しんでいました。



さまざまな出店が立ち並ぶ



多くの人でにぎわう特設会場



ボクシングのミット打ち体験



消防士になりきる



焼肉ガーデンで家族で焼肉を楽しむ



森の色鉛筆づくり



子どもたちが狩猟を体験



福祉施設の作品展示



市内小・中学校の作品展示



総菜を買い求める来場者



目の前で陶器を制作



米粉さつま芋ケーキの振る舞い



えびの産のお肉の販売



とりの炭火焼き



新鮮な野菜が並ぶ

お問い合わせ 市企画課 政策係 ☎35-3712（直通）

市の決算概要をお知らせします



一般会計

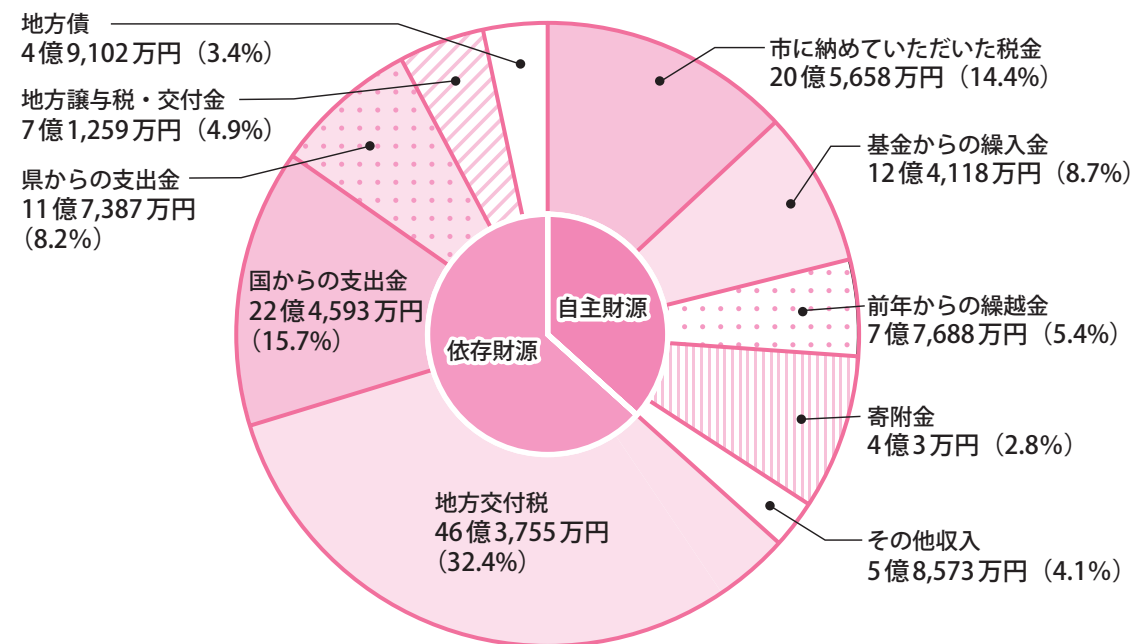
令和5年度は、歳入総額143億2,136万円、歳出総額139億4,886万円で、差し引き3億725万円となりました。
前年度に比べると、歳入は6億823万1千円の減、歳出は2億779万3千円の減となりました。

143 億 2,136 万円

対前年度比 4.5% 減

歳入は、市が自ら徴収または収納できる自主財源と、国や県から交付されたり、割り当てられたりする依存財源に分けられます。
令和5年度は、基金からの繰入金や国からの支出金などの減により、対前年度比4.5%の減となりました。

歳入 総額

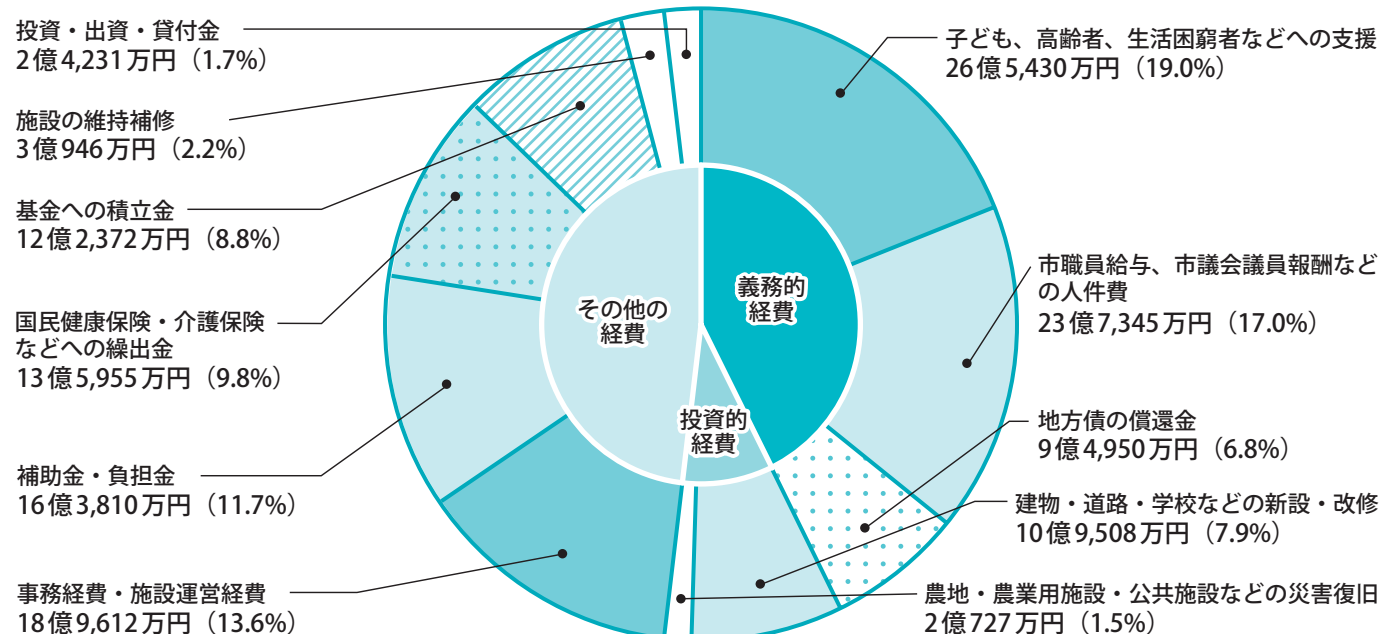


139 億 4,886 万円

対前年度比 2.0% 減

歳出は、その支出が義務付けられている義務的経費、建物・道路・学校などの資産形成に向けられる投資的経費、事務的経費や補助金などといったその他の経費に分けられます。
令和5年度は、補助金・負担金などの減により、対前年度比2.0%の減となりました。

歳出 総額



市債の借入残高の状況

【単位：万円】

区 分	4年度末残高	増 減	5年度末残高
一般会計	885,733	△44,015	841,718
水道事業会計	202,693	△1,582	201,111
病院事業会計	328	△328	0
産業団地整備事業特別会計	98,055	△2,731	95,324
一時借入金	0	0	0

(地方財政状況調査)

積立基金残高の状況

【単位：万円】

区 分	4年度末残高	増 減	5年度末残高
財政調整基金	356,049	△16,811	339,238
公共施設等整備基金	186,820	34,909	221,729
心のふるさと基金	90,760	△10,218	80,542
その他基金	137,493	△11,776	125,717
合計	771,122	△3,896	767,226

(令和5年度決算書)

- 財政調整基金** 突発的な災害や急を要する経費に備えるために設置される市の貯金ともいえる基金
- 公共施設等整備基金** 公共施設(道路・学校等)の整備を図るための基金
- 心のふるさと基金** ふるさと寄附金(納税)を積み立てたもので、ふるさとづくりの推進を図る基金
- その他基金** その他、それぞれの目的による基金

■お問い合わせ
市財政課 財政係 ☎ 35-3716 (課直通)

特別会計・企業会計

特別会計

国民健康保険や介護保険など、保険料などの特定の収入を財源とする会計です。

企業会計

水道や病院など、民間企業のように事業の収入で費用を賄う会計です。

【単位：万円】

区 分	歳 入	歳 出
国民健康保険特別会計	292,353	289,060
後期高齢者医療特別会計	68,039	67,875
介護保険特別会計	338,918	309,843
	介護サービス事業勘定	2,220
産業団地整備事業特別会計	3,616	3,580
水道事業会計	34,416	36,095
	資本的収支	9,015
病院事業会計	72,246	84,628
	資本的収支	9,043

(令和5年度決算書)

市役所からのお知らせ

Pick up information

10月に、第36回宮崎県乳肥農協
枝肉共進会、第65回宮崎県畜産共
進会、11月に、第8回九州連合ホ
ルスタイン共進会が開催されまし
た。

えびの市からは、宮崎県乳肥農
協枝肉共進会に5人、宮崎県畜産
共進会に5人、九州連合ホルスタ
イン共進会に1人が出品し、優秀
な成績を収めました。

■第36回宮崎県乳肥農協枝肉共進
会

10月18日、熊本県球磨郡錦町に
あるゼンカイミート株式会社で、
第36回宮崎県乳肥農協枝肉共進会
が行われました。

【交雑種部門】
「最優秀賞」
株式会社 重富畜産（尾八重野）
「優秀賞」
平岡伸夫さん（南原田）
「優良賞」
太田 幸雄さん（尾八重野）
【和牛部門】
「優秀賞」
前原牧場 株式会社（出水）
「特別賞」
株式会社 北部霧島肥育牧場（高野）



宮崎県乳肥農協枝肉共進会で最優秀賞を受賞した株式会社 重富畜産の重富和幸代表取締役



第8回九州連合ホルスタイン共進会で優等賞主席ならびに名誉賞を獲得した「SKリバー サム パーマー」号



九州連合ホルスタイン共進会の様子

畜産

第8回九州連合ホルスタイン共進会 川原澄広さんが優等賞主席ならびに名誉賞獲得

問 市畜産農政課畜産振興室 ☎35・3744（課直通）

■第65回宮崎県畜産共進会

10月3日から4日にかけて、児
湯地域家畜市場で、第65回宮崎県
畜産共進会の肉用種牛の部が、
10月22日に、株式会社ミヤチク高
崎工場で、肉牛枝肉の部および肉
豚枝肉の部が行われました。

【肉用種牛の部・第1類12カ月
齢以上17カ月齢未満】
「2等賞」
東脇勇二さん（大明司）

【肉牛枝肉の部】
「優等賞」
宮原 智恵さん（白鳥）
「1等賞」
神田 譲市さん（南原田）
「2等賞」
吉留 弘さん（湯田）
【肉豚枝肉の部】
「1等賞」
株式会社 森留農場（大明司）

■第8回九州連合ホルスタイン共
進会

11月13日、熊本県菊池郡大津町
岩坂にある熊本県家畜市場で、第
8回九州連合ホルスタイン共進会
が行われました。

【第6部・36カ月齢未満Jサイア
娘牛】
「優等賞主席ならびに名誉賞」
「SKリバーサムパーマー」号
川原澄広さん（上浦）



市では、市内全域を対象
に、保護者がより利用しや
すく、地域に根差した拠点
の整備を進めてきました。
11月に市内2カ所目となる
地域子育て支援センター
「ゆうゆう」を飯野地区に開
設しました。これにより、
子育てひろばがますます充
実しています。



調乳・授乳室

沐浴室・おむつ交換台



利用者の声

子育ての相談もできて、子どもにとっ
ても家にいるより多くの刺激をもらえてい
ます。イベントもたくさんあって、保護者
もリフレッシュでき、とてもいい環境です。



足育講座

3
地域の子育て関連
情報の提供

1
地域の乳幼児やその保護者が
相互に交流を行う場の提供・
交流の促進

4つの機能で
子育て家庭をサポートします！

4
子育てや子育て支援
に関する講習などの
実施

2
子育てなどについての相談や
情報の提供、助言のほかの
援助の実施

地域の子育て家庭への支援の充実
を図るため、地域子育て支援センタ
ーを設置しています。主に0歳から
3歳のお子さんと保護者が気軽に利
用できる交流スペースがあり、子育
てに関する講座やイベント、育児相
談を行っています。

地域子育て支援センターとは

えびの市地域子育て支援センター

ゆうゆう ☎48-5517

開放日 月曜日～金曜日
※祝日を除く

場 所 みなみえびの保育園の園庭内
(えびの市大字原田3102-1)

時 間 午前10時～午後3時

市ホームページ▶



なかよしランド ☎37-0008

開放日 月曜日～土曜日
(土曜日は毎月2回) ※祝日を除く

場 所 なかよし認定こども園の園庭内
(えびの市大字向江98番地)

時 間 午前10時～午後4時

市ホームページ▶



お問い合わせ 市こども課 こども相談係 ☎35-3739（直通）

子育てしやすいまち

の実現を目指して環境を整備しています

地域子育て支援センターが新たに開設！

市役所からのお知らせ

Pick up information



会場は多くの人でにぎわいました



えびの市のさまざまな特産品を販売しました

市では、11月8日・9日に大阪府大阪市梅田の地下街で、12回目となる「えびの市物産フェアin大阪」を開催しました。

このフェアは、関西えびの会、宮崎県大阪事務所の協力のもと、えびの市の特産品を広く知ってもらうことと販路拡大を目的に行ったものです。

会場には、多くの人が訪れ、えびの産の新作や新鮮な野菜、牛や

鶏の加工品、焼酎、蜂蜜などの特産品を購入していました。関西圏に在住しているえびの市出身の人も多く来場し、参加した事業者と、えびの市の話題で盛り上がりつつありました。

令和5年度から、大阪市梅田の地下街に会場を変更したことで、来場者の客層も広がり、えびの市や特産品のさらなるPRを行うことができました。

商工

えびの市物産フェアin大阪

問 市観光商工課商工係 ☎35・3728（直通）

市役所からのお知らせ

Pick up information

協働

地域活性化活動実践報告会

11月3日、市文化センターで「令和6年度地域活性化活動実践報告会」が行われました。同報告会では、令和5年度えびの市ふらいど21市民団体活動助成金を活用した、Yaddo（ヤッド）、ZEROHO（ゼロ歩）、ライトえびの3団体が報告しました。

■Yaddo（ヤッド）
Yaddoは、えびの市を愛する有志が集い、まちを盛り上げる特色ある取り組みを行うことを目的に立ち上げられた団体です。昨年度は、コロナ禍からの復活の起爆剤として食のイベント「オコメクエスト」を開催しました。

立久井友文代表は「今回は、『活気』『経済』『人と人との繋がり』の再興を目的に活動しました。活気・経済の面では、イベントに多くの人が訪れ、会場の賑わいだけでなく、道の駅えびのや近隣の観光地への導線を作ることができました。人と人との繋がりの中では、イベント運営にあたり、他市の団体からのボランティアの参加もあり、多種多様な皆さんと関わることでできました」と報告しました。

■ZEROHO（ゼロ歩）
ZEROHOは、メンタルダウンやソーシャルスキルの不足などを理由に、健全な社会進出を果たせていない人たちの支援を行うことを目的に活動しています。

市原肇代表は「支援の対象となる人は、孤立や孤独を抱えた人であり、居場所を求めています。今回は、竹を題材にしたさまざまな加工品を作成するワークショップを開催し、竹を使った加工品の製作を通して、自己肯定感や社会対応力を高める場を提供することができました。今後は、竹以外の加工品の検討や、『居場所』の開設を目指していきたいです」と報告しました。

■ライトえびの
ライトえびのは、「ワクワクすることをえびの市から発信しよう」をコンセプトに、学生のキャリア支援やさまざまなイベントを開催し、将来のえびの市の発展につなげていくことを目的に活動しています。

岡園和也代表は「市内の特産品と観光地を活用したイベントを実施



オコメクエストの成果を報告をする立久井代表



市の特産品と観光地の活用について報告する岡園代表

施することにより、『場所の価値』と『食材の旬』を感じてもらおう場を提供することができました。また、飯野高等学校と連携したキャリア教育では、専門的な講演や指導の場を設けることにより、これからを担うコミュニケーションリーダーの育成につなげることができました」と報告しました。



社会対応力などを高める支援について報告する市原代表

防災

えびの市災害対策本部防災訓練

問 市基盤・防災対策課基盤・防災対策係 ☎35・1119（直通）



各対策部で応急対策の基本方針を協議



災害対策本部会議で各対策の初動対策活動を報告

11月20日、市役所で「令和6年度えびの市災害対策本部防災訓練」が行われました。

これは、災害発生時に、迅速で的確な災害応急活動が行えるように、災害対策本部の初動の対応活動や職員の応急対応について図上訓練を実施し、災害対策本部機能の充実・強化と関係機関との連携強化を図ることを目的に実施されたものです。今回の訓練では、自

衛隊や川内川河川事務所などの関係機関も参加しました。

訓練では、訓練統制班が、複合災害（台風・地震）を想定して状況を付与し、各対策部が、初動対策活動について考察を行いました。各対策部は、その後の災害対策本部会議で、それぞれが取った対策を報告しました。訓練後、自衛隊や防災相談員、防災士などを含めて振り返りを行いました。

市役所からのお知らせ

Pick up information

野菜1日350g目安(小鉢で5~6皿 1皿約70g)



【別表】野菜1日350gの目安

健康のために必要な野菜は、1日350gで、小鉢で5~6皿が目安です(別表)。しかし、令和4年度の県民健康・栄養調査によると、宮崎県民の野菜摂取量は、平均236gで、約100g不足している状況です。そのため、宮崎県では、野菜を積極的に食べる活動「ベジ活」を推進しています。

野菜を食べるメリットとして、栄養価が高いことが挙げられます。野菜には、他の食品からは摂取しにくい、ビタミンやミネラル、食物繊維が豊富に含まれています。これらの栄養素を含む野菜の適量摂取により、脳卒中や心臓病、がんなどにかかるリスクが下がると、多くの研究で報告されています。

また、野菜は、シャキシャキとした食感でよく噛むため、満腹感を感じやすいこともメリットです。食事のはじめに野菜を食べると、主食や主菜の食べ過ぎ防止になり、適正体重を維持することにもつながります。

【野菜を多くとるポイント】

- ・下処理の手間や無駄を省くために、カット野菜や冷凍野菜を使う
- ・焼く、煮るなどの加熱調理で、かさを減らして食べやすくする
- ・外食やコンビニ利用時も野菜料理を取り入れる
- これらのポイントを意識し、今より野菜を100g増やして、目標の350gを目指しましょう。

健康

「元気で健康なえびの市づくり計画」〜ベジ活編〜

問 市健康保険課市民健康係 ☎35・1116 (直通)

農業

第20回 えびの市米・食味コンクール

問 市畜産農政課農産園芸係 ☎35・1650 (直通)



実食して香りや味などを評価し投票を行いました



米・食味コンクールで受賞された皆さん

J A みやざきえびの市地区本部で「第20回えびの市米・食味コンクール」が行われました。これは、えびの米のさらなる品質向上を目指し実施しているもので、市内から124点の応募がありました。

審査では、河野俊嗣宮崎県知事など、66人の審査員が、外観・香り・味などを評価しました。審査後、個人の部、団体の部、小学校の部、最優秀賞、真幸小学校

の部ごとに表彰が行われました。

【個人の部】

「最優秀賞」 柊山義臣さん(西長江浦下)

「優秀賞」 竹内忠司さん(西長江浦上)、田村誠一さん(中島)

【団体の部】

「団体賞」 下大河平自治会

【小学校の部】

「最優秀賞」 真幸小学校

市役所からのお知らせ

Pick up information

商工

新たに「えびの黒牛」と「いもこ豚」がえびのブランド認証

問 市観光商工課商工係 ☎35・3728 (直通)



認証を受けた長友代表取締役と繪柳取締役製造部長(右から)



今回認証を受けた株式会社丸正フーズのえびの黒牛



今回認証を受けた株式会社一心商事のいもこ豚



えびのブランド認証マーク

11月28日、市役所で「えびの市特産品ブランド認証書交付式」が行われました。

この事業は、市内の優良特産品を「えびのブランド」として認証し、付加価値を付けて広く売り出すことで、特産品の販売促進を図っていきます。

また、ブランド認証品を充実させることで、誘客効果や地域産業の活性化につなげることを目的としています。

これまでのえびの市特産品ブランド認証の対象項目は、「加工品」と「工芸品」のみとしていましたが、今回から新たに「精肉」を対象に追加しました。

今回、ブランド認証された特産品は、株式会社丸正フーズの「えびの黒牛」、株式会社一心商事の「宮崎県えびの市産いもこ豚」です。今回で、えびのブランド認証を受けた産品は、合計で33品になりました。

交付式では、村岡隆明市長から株式会社丸正フーズの繪柳正人取締役製造部長と、株式会社一心商事の長友浩人代表取締役、えびの市特産品ブランド認証が交付されました。

村岡市長は「株式会社丸正フーズ、株式会社一心商事ともに、えびの市で生産し、精肉・農業分野を引っ張りながら、ふるさと納税にも貢献していただいております。えびのブランドと

して付加価値を付けて、えびの市のPRにつなげていただきたいと思っています」とあいさつしました。

繪柳取締役製造部長は「えびのブランドを活用して、全国にえびの市をPRし、地域活性化に尽力していきます」と話しました。

長友代表取締役は「商品にえびのブランド認証マークを常につけて、全国でのえびの市の認知度を上げられるように努めていきたいです」と話しました。

11/17 九州トライアル選手権
第7戦宮崎大会



傾斜のあるコースに果敢に挑む

矢岳高原トライアルコースで「九州トライアル選手権第7戦宮崎大会」が行われました。同大会は、宮崎トライアル部会が行ったものです。

同大会には、国際A級、国際B級、国内A級、国内B級、エンジョイなどのクラスに、宮崎県内外から約60人のライダーが出場しました。選手たちは、コースを念入りに下見をして、果敢に挑んでいました。

11/10 田の神さあ^の里産業文化祭
芸能まつり



芸能の発展につなげる

市文化センターで「芸能まつり」が行われました。これは、舞台芸能発表の場として、えびの市芸術文化協会加盟団体が、練習を積み重ねてきたものを発表し、地域を元気にするために開催しているものです。

会場には、約340人が来場しました。日本舞踊やフラダンス、クラシックバレエ、大正琴、キッズダンスなど、約26団体が出演し、日頃の練習の成果を披露しました。

11/17 お米クエストII



県内の米どころのお米を食べ比べ

グリーンパークえびので「お米クエストII」が行われました。これは、えびの市の特産品である「えびの産ヒノヒカリ」の食べ放題を主軸に、えびの市の魅力を知ってもらおうと、市内の市民団体Yaddo（ヤッド）が開催したものです。

会場では、えびの産ヒノヒカリや県内の米どころのお米の振る舞い、出店、ステージイベント・大抽選会などが行われました。市内外から約3,400人が訪れました。

11/14 ひなた場



なりたい姿を思い描く

真幸中学校で、えびの市中高連携「ひなた場」が行われました。これは、市内の中学生と飯野高校生が、人生を語り合っ^て、自分の生き方について考えることを目的に行われたものです。

同中3年の前田祐誠^{ゆうせい}さんは「自分たちが抱える受験への不安や悩みなどを、先輩たちも経験してきたことを知れて安心できました。とても良い経験だったので後輩たちにもつないでいきたいです」と話していました。

11/9・10 基山町・えびの市少年野球交流大会



交流を通して技術を高め合う

王子原運動公園・野球場で「第26回基山町・えびの市少年野球交流大会」が行われました。これは、佐賀県の基山町とえびの市の少年野球チームの技術向上と両市町の親睦と交流を図ることを目的に行われているものです。

基山町から3チーム、えびの市から3チームが参加し、市町対抗で試合を行いました。また、小学4年生以下、5年生、6年生それぞれで選抜試合を行い、交流を深めました。

11/2 道の駅えびの700万人突破記念式典



700万人目は初のえびの市民

道の駅えびのの来場者が、通算で700万人を突破し、道の駅えびの^{たかあき}で記念式典が行われました。700万人目の来場者は、えびの市の丹波貴耀^{たかあき}さんご家族です。式典では、丹波さんご家族に、花束やえびの産ヒノヒカリ、宮崎牛などの記念品が贈呈されました。

丹波さんは「700万人目になるとは思いもしませんでした。これからも家族や友人とたくさん利用していきたいです」と話していました。

11/10 上江まちづくり協議会防災訓練



災害に強いまちづくりを推進

旧上江中学校で、上江まちづくり協議会防災訓練が行われました。これは、安心安全なまちづくりと、災害に強いまちづくりを推進するために、上江まちづくり協議会が実施したものです。

同訓練には、上江地区の住民や地域の関係団体が参加し、関係機関の協力のもと、土のう作成訓練、消火訓練、避難所運営体験などを行い、防災意識を高めました。

11/8 弾道ミサイルを想定した避難訓練



いざというときに備えて

加久藤小学校で「弾道ミサイルを想定した避難訓練」が実施されました。これは、「アラートのサイレン音の周知や避難行動の実践・啓発を目的に、国・県・市の共催で行われたものです。同小の児童たちは校内放送とともに安全確保を、周辺住民は同小への避難行動を行いました。同小5年の西添文音^{ふみね}さんは「経験していないことの実践は難しいので、とても良い経験になりました」と話しました。

11/27

オレンジカフェ in 飯野高校



市民と認知症サポーターが集う

飯野高校で「オレンジカフェ in 飯野高校」が行われました。これは、認知症サポーター養成講座を受講した飯野高校生の活躍の場と異世代交流の場として、市と同校の生徒が企画したものです。

飯野高校生、認知症の人やその家族、市民など、約40人が参加しました。参加者たちは、昔の思い出や将来の夢など、多彩な話題で盛り上がりしました。

11/25

第78回国民スポーツ大会 SAGA2024 ウェイトリフティング競技上位入賞



国スポで上位入賞の活躍

小林秀峰高等学校3年の柳田琉翔さん（加久藤中学校卒業）と小林高等学校2年の永前大輝さん（上江中学校卒業）が、10月に佐賀県で開催された第78回国民スポーツ大会 SAGA2024 のウェイトリフティング競技で、上位入賞したことを市長に報告しました。

柳田さんは、少年男子89kg級に出場し2位、永前さんは、少年男子102kg超級に出場し6位の成績を収めました。

11/21

えびの市指導力向上自主勉強会



子ども主体の授業とは

市役所で「えびの市指導力向上自主勉強会」が行われました。これは、市内の小・中学校の教職員同士の交流と人材育成を目的に実施しているものです。令和6年度は5回実施しています。

今回は、上江中学校の松田裕子教諭を講師に「これからの時代に求められる『令和の日本型学校教育』とは」と題して講義が行われ、参加者は、子ども主体の授業について考えました。

11/17

国際交流まつり



さまざまな催しで交流を深める

市国際交流センターで「国際交流まつり」が行われました。これは、市民と外国人との交流の場として、市国際交流センター主催で行われているものです。

会場では、綱引き大会やマルシェ手作り市、ステージイベントなど、さまざまな催しが行われました。ステージでは、全盲のヴァイオリニスト穴澤雄介さんのコンサートや、留学生による歌唱、南米ダンスなどが披露されました。

12/3

認知症サポーター養成講座



地域を見守るキッズサポーターに

上江小学校で、6年生を対象に「認知症サポーター養成講座」が行われました。これは、高齢者に児童目線での声掛けや見守りを行うキッズサポーターを養成し活躍してもらおうと、市が市内全ての小学校で実施しているものです。

同小の坊野銀耶さんは「認知症の人の気持ちや助ける側の思いを知ることができました。声掛けのポイントをもとに、地域の高齢者の皆さんを助けていきたいです」と話しました。

11/26

身体障害者福祉会 レクリエーション大会



ミニ運動会で楽しく交流

加久藤地区体育館で「身体障害者福祉会レクリエーション大会」が行われました。これは、身体障害者福祉会が、同会の会員と市民の交流を図ろうと実施したものです。同会の会員や民生児童委員など、約50人が参加しました。

同大会では、参加者が4チームに分かれて、ボールを使ったリレーや玉入れなどが行われました。参加者たちはチームで協力し合い、楽しく交流を深めました。

11/22

明治安田生命保険相互会社 寄付金贈呈



市民の健康増進の一助に

明治安田生命保険相互会社宮崎支社が、市に寄付金を贈呈しました。市と同社は、令和元年11月に健康増進に関する連携協定を結んでいます。今回、同社が行っている「私の地元応援募金」として710,500円が市に贈呈されました。

これは、同社の従業員が居住地・出身地など、ゆかりのある地域を指定して行う募金に、会社の拠出を上乘せしたものです。同社から市への寄付金の贈呈は、今回で6回目になります。

11/20

えびの産有機米と宮崎牛を使用した 学校給食



えびの産の有機米と宮崎牛をPR

市内小中学校の給食で、えびの産の有機米と宮崎牛を使用したカレーライスが提供されました。これは、えびの産の有機米と宮崎牛のPRを行い、有機農業・農法の利用促進と畜産振興を図るために、エコロジカルタウンえびの推進協議会とえびの市畜産振興会が行ったものです。

提供されたカレーライスは、1,367食で、111kgのお米と54kgの牛肉が使用されました。

薄暮時・夜間の交通事故防止



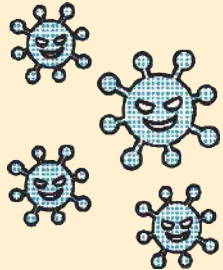
薄暮時は、交通事故が起こりやすい「魔の時間帯」です。令和6年も、薄暮・夜間時間帯の交通事故件数が増加しています。

薄暮時は、車も自転車も早めにライトを点灯し、歩行者等の発見を早めるために、ライトをこまめに切り替えましょう。

早朝・薄暮時・夜間の外出時は、必ず明るい目立つ色の服装と反射材を着用し、道路を横断する際は、左右の安全を十分に確かめ、基本的な交通ルールを守りましょう。

11月の交通事故発生状況	人 身 物 件	1件	本年累計	29件
		28件	本年累計	245件

感染症にご注意を



寒さが増し、空気が乾燥する季節になり、インフルエンザウイルスや新型コロナウイルスが空气中を飛散しやすくなります。寒さが増すことで、免疫力の低下につながり、感染症にかかりやすくなります。次の対策を参考に、健康な冬を過ごしましょう。

- 【対策】
- ・外出後などの手洗い・うがいを徹底する
 - ・室内の湿度を50%～60%に保つ
 - ・マスクの着用を心掛ける
 - ・体を温める食事を摂取する

11月の活動状況 [えびの消防署管内]	火 災 救 急	1件	本年累計	23件
		96件	本年累計	992件

地域おこし活動

Community Building



中学・高校の垣根を越えた学びを創出

前回の記事から時間が空いてしまいましたが、最近の私の活動を紹介します。

地域教育魅力化コーディネーターとして、飯野高校を中心に、えびの市の教育魅力化を行っています。具体的には、高校生の探究活動の伴走や、えびの学を通じた中高一貫教育の設計です。

令和6年度は、市内の中学生が飯野高校を訪れて、高校生と一緒に授業を受けたり、高校生が講師役となって中学生にアド

バイスをしたりするなど、中高の垣根を越えた学びの機会を創出しています。

中学生と高校生を交えた学びの場は、互いに目線を合わせた会話や、年齢が違う相手への向き合い方などの経験を得ることができます。中学生は、高校の雰囲気や進学した後のイメージを持つことができます。高校生は、自分自身の活動や目標を改めて考え直すことができます。

教員の皆さんも、生徒に何を

残せるか、えびの市で何を与えられるかを常に考えられています。私の仕事はそのような教員の皆さんが描くイメージを実現させることではないかと感じています。移住者であり、市民2年目でもある私が持つ視点を最大限に活用して、今後の協力隊の任務に取り組んでいきたいと思っています。

任期も折り返し地点になりました。卒業後もえびの市で活動していきたいので、その後を見据えた3年目にしていきたいと思います。

文：武井恒介隊員

男女共同参画

Gender Equality



「生理の貧困」とは、経済的な理由などから、生理用品を購入することが困難な状態にあることです。生理用品にかかる費用は、月500円から1200円、生涯で約40万円かかるといわれています。国の調査によると回答者の8・1%が生理用品の入手に苦労したと回答し、特に若い年代で大きな経済負担となっています。問題の背景には、経済的理由のほかに、親に頼めないといった理由もあります。

「生理の貧困」が及ぼす影響は次のとおりです。

①「身体的影響」かぶれ・かゆみ・悪臭などの症状

②「精神的影響」鬱・不安障害などの精神的不調

③「社会的影響」学業や仕事を遅刻・早退・欠席するなど

これは、女性の社会進出に対する機会損失を意味しています。生理は、女性であれば誰もが経験するもので、衛生的かつ快適に過ごすことは、人としての尊

厳や権利にもつながる問題です。市では、生理用品を無償で配布しています。お気軽にお問い合わせください。

【配布場所】市女性相談所、市総務課人権啓発室(相談に応じます)

【配布方法】市役所や公共施設のトイレに設置してあるカードを提示してください。会話せずに受けとれます。名前等も確認しません。

【内容】ナプキン1〜2パック

【問い合わせ先】市女性相談所 ☎0120・1233・693

文：市総務課人権啓発室

市立病院

City hospital



患者相談窓口(地域医療連携室)

市立病院では、患者やその家族などからの医療・福祉についての相談や質問に応じるため、相談窓口を設置しています。次のような時はご相談ください。

【相談内容】

- ・受診、診療科についての相談
- ・医療費など、経済的なことで心配がある
- ・介護保険の手続き、サービス内容を知りたい
- ・施設入所、転院について相談したい

がんの告知を受けたが、今後の生活が不安で相談したい

- ・障害が残ったので、何か使える制度があれば知りたい
- ・在宅での介護や生活について相談したい
- ・セカンドオピニオンを受けた

い

- ・入院生活での心配ごと

【時間】午前8時30分〜午後5時15分 ※土日・祝日を除く。

【場所】市立病院 地域医療連携室 ※相談内容に応じて、院内の

適切な場所で相談に応じます。

入院患者だけでなく、外来患者にも関わっています。また、これまで受診をしたことがない人の相談も、電話や窓口で受け付けています。

地域の医療・福祉ネットワークを活用し、切れ目のない支援を提供することで、住み慣れた地域で、安心して暮らせる環境づくりを目指しています。お気軽にお問い合わせください。

相談についての秘密は厳守します。相談は無料です。

文：市立病院 地域医療連携室



旧医師住宅敷地売却の一般競争入札

市では、市有財産の旧医師住宅敷地を一般競争入札で売却します。入札への参加を希望する人は、市有財産売却一般競争入札募集要領を市財産管理課管財係で取得、または市ホームページからダウンロードしてご確認ください。

【件名】市有財産 旧医師住宅敷地売却

【日時】令和7年2月26日(水) 午前10時

【場所】市役所本庁 1-1会議室

【入札物件】

【土地】えびの市大字原田3215番地2

【地籍】400.75㎡

【最低売却価格】5,000,000円

【受付期間】令和7年1月20日(月) ～2月20日(木)

詳しくは、市有財産売却一般競争入札募集要領をご覧ください。

申・問市財産管理課 管財係

☎35-1120(課直通)

「三ない運動」をご存じですか

年末年始は、お歳暮やお年賀など何かと贈り物やお祝い事をする機会の多いシーズンです。

この機会に、皆さんに改めて理解してもらいたいの、きれいな政治、お金のかからない政治の実現、選挙の公正の確保を目指す「三ない運動」(贈らない、求めない、受け取らない)です。

政治家が選挙区内の人にお金や物を贈ることはもちろん、有権者が政治家に寄付や贈り物を求めることも公職選挙法により禁止されています。

皆さん一人一人が寄付禁止のルールを守って、明るい選挙を実現しましょう。

【政治家の寄付禁止の対象例】

①落成式・開店祝などの祝花、葬儀の花輪・供花、病気見舞いなど

②お歳暮・お年賀など

③祭りへの寄付・差し入れ、町内会の集会・旅行などの催物への寸志・飲食物の差し入れ

④結婚祝(※)、香典(※)、卒業祝、入学祝など

※政治家本人が結婚披露宴、葬式などに自ら出席してその場で行う場合には、罰則が適用されない場合があります。

【その他禁止されている行為】

政治家が選挙区内にある者に対して、答礼のための自筆によるものを除き、年賀状、寒中見舞などのあいさつ状(電報なども含む)を出すことは禁止されています。

※「広報紙『総務省』(2024年12月号)」より参照

市ホームページに、具体的な例をQ&A方式でまとめていますので、ご覧ください。

問市選挙管理委員会 事務局

☎35-3732(直通)

野外でのごみの焼却は法律で禁止されています

家庭ごみを含め、廃棄物の野外焼却(野焼き)は、法律で原則禁止されています。野焼きは、煙・臭いによる原因になるだけでなく、ダイオキシン類などの有害物質の発生や火災につながるおそれもあります。

ごみを地面で直接焼却する場合だけでなく、ドラム缶・ブロック積での焼却、穴を掘っての焼却も禁止されています。ごみは正しく分別して、指定された日にごみステーションに出してください。

事業所・工場・事務所等に設置してある「構造基準を満たさない焼却炉」での廃棄物の焼却も罰則の対象になります。許可を得た専門業者に委託するなど、適正に処理してください。

問市美化センター

☎33-5782

川内川河川敷の伐採樹木を無料で配付します

国土交通省では、川内川の堤防等の維持管理のため、業者に委託し、河川敷の樹木の伐採を行っています。

資源の有効利用を図るため、伐採樹木を地域の皆さんに提供します。数量に限りがあります。希望する人は、お早めにお申し込みください。

【期間】なくなり次第受け付けを終了します。

【時間】午前9時～午後5時 ※土・日、祝祭日を除く

【対象】川内川前田橋下流付近の堤防上に直接受け取りに来ることができる人 ※申し込みの際に、保管場所の位置図を渡します。

【申込方法】国土交通省川内川河川事務所京町出張所に直接お申し込みください。

【申込期限】なくなり次第締め切ります。

【その他】

・現地からの持ち出しは利用者本人に行ってもらいます。

・転売などの営利目的で受け取る人には提供できません。受け取り上限は1回につき、軽トラック1台分程度とします。

・配布場所での運搬車への積み込みやロープでの固定などは、各自でお願いします。

・運搬車に樹木を詰め込む際は、過積載にならないようにするとともに、荷ロープを掛けてください。

・樹木は、気象条件等により、品質が悪い場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

※これらが原因による不慮の事故などは、自己責任となります。

申・問国土交通省 川内川河川事務所 京町出張所

☎0996-22-3809

令和6年度自衛官募集

自衛隊宮崎地方協力本部小林地域事務所では、令和6年度自衛官等の各種募集を行います。

■自衛官候補生

【資格】18歳以上33歳未満の人 ※32歳の人は、採用予定月の末日現在、33歳に達していない人

【受付期間】

[第5回] ～令和7年1月10日(金)

[第6回] 令和7年1月11日(土) ～2月5日(水)

[第7回] 令和7年2月6日(木) ～2月25日(火)

※年間を通じて受け付けています。

【試験日】※ウェブ試験

[第5回] 令和7年1月18日(土) ～21日(火)

[第6回] 令和7年2月8日(土) ～11日(火)

[第7回] 令和7年3月1日(土) ～4日(火)



【口述・身体検査等】

[第5回] 令和7年1月26日(日)

[第6回] 令和7年2月15日(土)

[第7回] 令和7年3月9日(日)

【場所】受付時にお知らせします。

■陸上自衛隊高等工科学校生

【資格】17歳未満の男子(中卒(見込み)を含む)

【受付期間】～令和7年1月16日(木)

【試験日】

[1次] 令和7年1月25日(土) または26日(日) のどちらか1日

[2次] 令和7年2月13日(木) ～16日(日) の内1日

※陸上自衛隊高等工科学校とは、高度なテクノロジー教育を受け、国際社会でも活躍できる陸上自衛官となる人材を養成する学校です。

申・問自衛隊宮崎地方協力本部 小林地域事務所

☎22-5254

地雷撤去のために書き損じはがきを集めています

一般財団法人カンボジア地雷撤去キャンペーンでは、カンボジアの地雷被害をなくすために、書き損じはがきなどを集めて換金し、地雷撤去団体に寄付を行っています。

はがき2～3枚で1平方メートルの地雷撤去費用になります。

【対象品】書き損じ・未使用はがき、未使用の切手、未使用のテレフォンカード、クオカードなど

【期間】令和7年3月31日必着

【送付先】〒814-0002 福岡市早良区西新1-7-10-702

(一財)カンボジア地雷撤去キャンペーン宛

問一般財団法人カンボジア地雷撤去キャンペーン

☎092-833-7575



生涯学習講座 「パソコン講座」参加者募集

■パソコン・Word講座

パソコンの入力方法、マウスの操作、ファイルの作成、作表・作図、Wordを用いた文書作成（要望に応じて回覧板、イベント情報、案内チラシなど）をレベルに応じて、4回に分けて学習します。

【開催日】①令和7年1月8日、15日、22日、29日（毎水曜）
②令和7年1月10日、17日、24日、31日（毎金曜）

■Excel講座

Excelの概要や表のけい線作成、簡単な数式の入力方法などを4回に分けて学習します。

【開催日】①令和7年1月9日、16日、23日、30日（毎木曜）
②令和7年1月21日、28日、2月4日、18日（毎火曜）

■共通事項

【場所】市文化センター

【時間】午後1時～午後3時30分

【対象】市内在住者

【募集人員】各コース4人まで

【参加費】無料

【申込方法】市社会教育課パソコン講師（担当：新名）に電話、または申込フォーム（<https://logoform.jp/f/4kik3>）からお申し込みください。

※右のQRコードから申込フォームが確認できます。

【申込期限】各コース定員に達するまで

【その他】

・各講座①、または②のどちらか希望する日程をお知らせください。

・個人所有のパソコンの持ち込みも可能です。

■パソコン相談

パソコンの使い方の相談に応じます。パソコン持ち込

みでの相談も対応します。

※パソコンの故障・修理の対応はできません。

※相談には、事前の申し込みが必要です。

【対象】市内在住者で、パソコンの操作に困っている人

【時間】午前10時～午後3時

【場所】市文化センター

【参加費】無料

【申込方法】市社会教育課パソコン講師（担当：新名）に電話でお申し込みください。

申・問市社会教育課 パソコン講師（市文化センター内）

☎35-2268（火曜～金曜）

放送大学入学生募集

放送大学では、令和7年4月入学生を募集しています。10代から90代の幅広い世代の8万5千人以上の学生が、「大学を卒業したい」、「学びを楽しみたい」など、さまざまな目的で学んでいます。

授業には3つのスタイルがあり、BS放送やインターネットで視聴する、または講師から直接受ける授業があります。心理学・福祉・経済・歴史・文学・情報・自然科学など、300以上の幅広い授業科目があり、1科目から学ぶことができます。

資料を無料で配付していますので、お気軽にお問い合わせください。

【出願期間】

【第1回】～令和7年2月28日（金）

【第2回】令和7年3月1日（土）～3月11日（火）

申・問放送大学 宮崎学習センター

☎0982-53-1893



今月の表紙 >>

11月23日・24日に、市文化の杜で行われた「第38回田の神さあ里産業文化祭」。各ブースで、さまざまな催しが行われ、子どもたちも楽しんでいました。

今月の納税 >>

固定資産税 第3期

国民健康保険税 第6期

後期高齢者医療保険料 第6期

介護保険料 第5期

12月25日（水）までに納めましょう。

「市民交流喫茶」に参加しませんか

市国際交流センターでは、「市民交流喫茶」を開催します。市民交流喫茶は、「えびのや近隣地域のことを知りたい」、「えびのをもっと盛り上げたい」と思っている人に参加してもらい、さまざまな分野のゲストを招いて、講話を聞く楽しいつどいです。一緒に、地元の食材、産品を試食するなど、えびのの良さも味わえます。ぜひ、ご参加ください。

■第1回

【開催日】令和7年1月16日（木）

【ゲスト】マーシーの家 セラピスト マーシー 由美さん

英会話講師等をしている夫のブライアン・マーシーさん（米国出身）と子どもたちとともに、令和4年にえびの市に移住したマーシーさん（沖縄出身）。6人の子どもたちの母親でもあり、沖縄からの移住のきっかけや、えびのの来ての感想などを話してもらいます。

■第2回

【開催日】令和7年2月20日（木）

【ゲスト】地域おこし協力隊 篠原 美寿恵さん（令和5年8月着任）、日高 未来さん（令和6年4月着任）

地域おこし協力隊として「株式会社えびの」で活躍する二人に、会社の事業内容などを話してもらいます。

■第3回

【開催日】令和7年3月13日（木）

【ゲスト】メゾソプラノ歌手・宮崎県オペラ協会理事長 泊 かずよさん

市内のコーラスグループ「コールりんどう」の指揮者・指導を行っている泊さん。声楽の披露とともに、歌うことの素晴らしさを話してもらいます。夫は、宮崎大学名誉教授の地村俊政さん（えびの市出身）です。

■共通事項

【時間】午前10時～午前11時30分

【場所】市国際交流センター

【定員】30人程度

【参加費】全講話合わせて1,000円（飲み物、地元産品試食代等）※1回のみ参加は400円。

【申込方法】市国際交流センターに電話でお申し込みください。※参加者の住所・氏名・電話番号をお知らせください。

【申込期限】令和7年1月7日（火）

申・問市国際交流センター

☎35-3211

■証明書等コンビニ交付サービスをご利用ください

マイナンバーカードを利用して、市が発行する証明書（住民票の写し、印鑑登録証明書等）を全国のコンビニエンスストア等のマルチコピー機で取得できます。

【利用日時】午前6時30分～午後11時

※年末年始を除く

※戸籍証明のみ平日午前9時～午後5時

【取得できる証明書】

住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍全部（一部）事項証明書、戸籍の附票の写し、所得課税証明書、非課税証明書

問市民環境課 市民・年金係 ☎35-1117（直通）

問市税務課 収納対策室 ☎35-3737（直通）

Editor's >>

食欲の秋といわれますが、11月はお米クエストIIに米・食味コンクール、産業文化祭での出店と、食に関する取材が盛りだくさんでした。えびのは本当に食に恵まれているなと改めて実感しました。今年は活気あふれる1年だったと思います。来年も充実した広報紙をお届けできるよう頑張ります。皆さん、良いお年をお迎えください。（中川）

図書館へ行こう!

おすすめの冊



稲作ライヴ おもしろくてたいへんな 田んぼの一年

サルイン 著
(くもん出版)



養老先生、がんになる

養老孟司 中川恵一 著
(エクスナレッジ)

ブックランド号 運行スケジュール

運行場所(ルート)	運行日(1月)	時 間
岡元小学校→さくら苑	8日(水)、 22日(水)	13:15~15:15
上江小中学校→真幸出張所→Aコープ かくとう店→加久藤地区体育館	9日(木)、 23日(木)	12:45~16:30
市役所→飯野地区コミュニティセン ター	10日(金)、 24日(金)	12:30~15:15
真幸地区体育館	15日(水)、 29日(水)	15:25~15:50
飯野出張所→Aコープいいの店→自 衛隊官舎	17日(金)、 31日(金)	14:50~16:30

■福引・福袋

テーマ別に図書館スタッフがおすすめする本3冊が入った福袋の貸し出しを行います。福袋を借りた人は、その場で空くじなしのくじ引きにチャレンジできます。5冊以上借りた人は、福引(空くじなし)を引くことができます。数量に限りがありますので、お早めにご来館ください。
※福袋の中身は貸出用の本です。必ず図書館に返却してください。

- 開催日=1月5日(日)
- 時間=午前9時~
- 場所=図書館入口



えびの市民図書館 (@EbinoCityLib)
<https://twitter.com/EbinoCityLib>
※右のQRコードからも見る事ができます。



えびの市民図書館

☎35-0242 <https://www.ebino-library.com/>

開館時間 火曜~土曜/午前9時~午後7時
日曜・祝日/午前9時~午後5時

休 館 日 毎週月曜日(祝日法に定める休日と重なった場合はその翌日)

あなたも作ってみませんか 心の一首一句



俳句

みじろぎもせず菜園の冬の蝶

えびの風天

蝶が死生の境界を浮遊して、死者の化身や靈魂と結びつける信仰と伝承は、国内外に伝わる様で、多種多様な「人」としての再生を願っているかの如く...を詠んでみた次第。
(自註)

詩

金婚式

ともぎやすこ

持病持ちの虚弱体質で生まれた私を
医者「二十歳まで生きるのは難しい」と言い放った
育てにくい私はさつさと里子に出された
学校では悪ガキどもに「うっせこ」とはやし立てられた
いやいや待て待て 私が生きる気満々
しかも嫌なことはすぐに忘れるタイプ
「体が弱い分 気は強い」と自分を奮い立たせた
生きた 生きた 脇目も振らず大人になる日を目指した
相談する大人が傍にいなかったのは幸いだ
大事なこととは自分で決めた
だから「相談もしないで勝手に決めて」と叱られた
やがて人生は風のように流れ
なんとこの度 えびの市主催の金婚式でお祝いをして頂いた
「さああみろ 実は私は生まれた時からたくましかったんだよ」
金婚式会場内での私は清々しかった 誇らしかった
これまで優しくしてくださったすべての人に
この時 私は心から感謝した

「お問い合わせ」

俳句

松山良文さん ☎33・4904

詩

ポエム同好会(田中虎夫 ☎33・2959)

霧島山の
めぐみ めぐる
えびの
山と水、米と肉、温泉と四季のまち。



えびの市
LINE公式アカウント



えびの市広報
Facebook



EBINO TOURISM

【市観光商工
課公式インス
タグラム国内
旅行者向け】



EBINO TOURISM

【市観光商工
課公式インス
タグラム訪日
外国人向け】



「マチロ」
マチを好きになるアプリ



※QRコードは、株式会社デンソーウェブの登録商標です。